

各務原市地域包括支援センターつつじ苑通信

平成21年12月号

年末となりました。地域の高齢者の皆様にとって、より身近な“よろず相談所”を目指して、日々、積極的に取り組んでいるところですが、皆様のご指導と、お力添えにより今年も無事に年を越えることができそうです。

稲羽地区の皆様には本当にお世話になり、ありがとうございました。

各務原市地域包括支援センター つつじ苑職員一同



12月21日(月曜日)に家族介護教室を開催しました。

テーマ：認知症のおはなし ということのでーザイ株式会社の^{ぶしだ}武士田奈美さんに認知症の症状や接し方について話をさせていただき、その後介護者の皆さんの質問には同じ会社の齊藤彰悦さんが丁寧に分かりやすく答えて下さいました。

【接し方】自尊心を傷つけない・視野に入って話す・ゆっくり、楽しく・感情に働きかける・わかる言葉を使う・話を合わせる（現実にはありえない話でも）・昔話を聞く・簡潔に伝える・現実を強化する（折に触れて名前や日時を確認する等）など、役に立つお話がたくさんで、介護者の方の質問もたくさんありました。



◎ 認知症の方は体の不調を言葉にできないため、様子の変化を見逃さず、発見し予防につなげていくことが大切。

◎ 時期が分かる認知症は原因がある場合が多い。

「もっとあーしろ、こーしろ。アレも載せろ」等、ご意見お待ちしております。

電話 058-371-2226 FAX058-371-8431 (担当 長谷川)